

水環境・湖沼(1) (2-B-9-1～2-B-10-2)

水環境・湖沼(1)のセッションでは、主に藍藻類が形成するアオコの増殖特性や抑制手法、処理技術に関する発表であった。とくに藍藻が産生する毒性物質の産生メカニズムは遺伝子レベルでの解明が一步進められている。また、藍藻類の抑制に関する発表では、生物学的観点から、ヨシからの抑制物質が具体的に特定されつつあること、物理化学的手法として金属を含有させた担体を活用する手法等、ユニークな報告があった。さらに現場でアオコの増殖を実際に抑制する手法として特殊な不織紙を低質に覆いその効果を示した研究報告等も注目された。全体として、藍藻類の増殖及び抑制については、それらにかかわる特定の諸因子が解明されつつあること、また、抑制対策の方法については、環境に配慮しつつ低エネルギー低コストを踏まえた研究内容であったことと言える。

(筑波大学大学院生命環境科学研究科 杉浦 則夫)